

おきなわ **花** はなんちゅ 生活人を広めよう!!

くらしの中にきれいな花を！
潤いのある生活を！
花のある生活を提案します。



「正月盛り花」



北中城村中村家近くの通り



「クリスマスリース」



那覇市県庁近くの通り



ジャパンフラワーフェスティバル2003 in とっとり花回廊
農林水産省生産局長賞受賞

「広がり続く命のカスケード」

今年10月24日～26日に鳥取県で行われた第13回ジャパンフラワーフェスティバルにおいて、全体デザインクラスで沖縄県フロリスト協同組合青年部の制作した作品が農林水産省生産局長賞を受賞しました。



私たちの暮らす町は、一年を通して花やみどりがいっぱいです。町並みをめけると田園風景が広がり、そこには温暖な気候を活かして、生産者の皆さんが丹精込めて育てている切り花や切り葉、観葉植物などが季節ごとにあふれています。
太陽の光をいっぱい浴びた花々が身近にあるって、とても素敵なことだと思いませんか。
私たちは、花のある潤いに満ちた花生活人生活を提案します。



「那覇市泉崎屋上緑化（安村医院）」



今年度のフラワーアレンジ花材



今年度のポスター掲載花束



はなんちゅ 花生活人集まれ！ 平成十五年度県産花き 消費拡大キャンペーン

日頃から花に親しみ、花のある生活を普及・推進し、花を愛する習慣の定着を図ることを目的に十二月六日（土）に「県産花き消費拡大キャンペーン」を開催します。

会場となる宜野湾市立体育館のフロアをいっぱいを使い、一千人で一斉に行うフラワーアレンジメント大会や、県内トップデザイナーによるリース作り等のデモンストレーション、県産花きの展示など参加者が楽しめる内容を準備して、皆様をお待ちしております。

このようなイベントをおとしから実施し、今回は三回目になります。県民の県産花きに対する関心が高まってきており、毎年多くの方に花生活人として参加していただいています。沖縄県農水産物販売促進協議会では、このキャンペーンを皮切りに十二月から四月までを県産花きの消費拡大期間と位置づけています。



平成15年度県産花き消費拡大キャンペーン

- 日時 12月6日（土）午後1時～4時
- 場所 宜野湾市立体育館（沖縄コンベンションセンター隣）
- 主催 沖縄県農水産物販売促進協議会
- 内容
 - （1）オープニングセレモニー
 - （2）デモンストレーション
 - （3）1,000人ふれあいフラワーアレンジメント大会
 - （4）県産花きの展示

※フラワーアレンジメント大会参加への一般公募は、11月20日で締め切りました。



「アレカヤシ」
沖縄を代表する切り葉のひとつで、暮らしの中に清涼感を与えてくれる。通年出荷。



「アンズリウム」
「紅うちわ」とも呼ばれる。中心にある突起（ノーズ）が花で、赤い部分は葉が変化したもの。通年出荷。



「モンステラ」
存在感のあるグリーンとその独特の姿が見る人を楽しませてくれる。2月～12月出荷。



「デンファレ」
トロピカルフラワーの代表で沖縄のイメージにぴったり。沖縄は切り花で全国一。9月～12月頃出荷。



「ストレリチア」
その特徴的な姿から「極楽鳥花」とも呼ばれ、沖縄を代表する花のひとつ。通年出荷。



「レザーファン」
フラワーアレンジによく使用され、特に結婚式のブーケには欠かせない。通年出荷。



「小ギク」
沖縄県は全国一の産地で特に彼岸時期の市場占有ナンバー1。「沖の白波」など沖シリーズはうちなー産まれ。11月～5月頃出荷。



「輪ギク」
全国で最もポピュラーな切り花。存在感のある大輪の花は、切り花でも鉢植えでも人気がある。11月～5月頃出荷。



「オンシジウム」
蝶々が舞い踊っているように見えるかわいい花が超人気。9月～10月頃出荷。



「レッドジンジャー」
情熱的な赤い花が印象的。ピンク色のものもあり、生け花に使用するとバリエーションの幅が広がる。4月～11月頃出荷。

「トロピカルフラワーアイランド沖縄
色鮮やかな沖縄の花が大好きです！」

県内で生産される花は、冬春季のキクや洋ラン、ストレリチア、アンズリウムなどの熱帯性花き類といった切り花や、フラワールンジには欠かせない切り葉（葉もの類）が主に栽培されています。
平成十三年の花きの出荷額（鉢物等を含む）は、百五十三億円で、うち県外へ出荷された花きは、百二十一億円です。特に小ギクは、全国一を誇る生産量で、春の彼岸の花は、沖縄県産が支えています。
県民の皆様！トロピカルフラワーアイランド沖縄の多種多様な花を生活の中に取り入れていただき、花を身近に感じる暮らしを楽しんでみてはいかがでしょうか。